

---

◎陳情第 1 号 白老町議会議員定数の削減に関する陳情書

○議長（山本浩平君） 日程第 10、陳情第 1 号 白老町議会議員定数の削減に関する陳情書を議題に供します。

本件については平成 26 年定例会 9 月会議において議会運営委員会に付託いたしましたが、その審査結果の報告書が提出されておりますので委員長の報告を求めます。

大淵紀夫議会運営委員会委員長。

〔議会運営委員会委員長 大淵紀夫君登壇〕

○議会運営委員会委員長（大淵紀夫君） 陳情の審査報告書。本委員会に付託された陳情の審査結果を次のとおり白老町議会委員会規則第 45 条第 1 項の規定により報告します。

1、件名。陳情第 1 号 白老町議会議員定数の削減に関する陳情書。

2、陳情提出者の住所及び氏名。白老町字北吉原 661 番地 102、町政を活性化する会代表、松原厚さんでございます。

3、審査の経過。平成 26 年 9 月 9 日に再開された平成 26 年白老町議会定例会 9 月会議において本委員会に付託されたので平成 26 年 10 月 9 日、12 月 3 日に委員会を開催し陳情提出者を参考人として招致し願意を聞くなど慎重に審査した。

4、審査の結果。趣旨採択すべきものと決定。

5、審査意見。本陳情については提出者を参考人として招致し願意を確認した。その願意は議員定数を減らして少数精鋭で大いに議論し議会の役割である行政チェック、政策立案能力を発揮していくべきものであり本町の厳しい財政状況、重要政策課題が先送りされ住民サービスの低下、税負担が軽減されないことなどこれらを検証する議員の責任は重いとしている。また陳情書にある議員を大幅に削減とあるのは、提出者は大幅という文言を抜いて理解していただきたい、議員を削減という形で捉えていただきたいとその考え方が示された。議員定数については本委員会において十分議論を重ねてきたものであり現行の定数 15 人は本会議、常任委員会の十分な審議とともに多様な意見を反映した議論が必要であることから適切な定数であると考え、財政危機に対する議会への不信等を重く受けとめるとともに現在 14 人で運営されている実態を考え議会がさらに努力していくことが必要であると判断し、1 人減員し定数 14 人とする結論に至ったところであり本陳情の定数を削減すべきという趣旨に対しては理解できるものである。以上であります。

○議長（山本浩平君） ただいま議会運営委員会委員長から報告がありましたが、この報告に対しまして質問がありましたらどうぞ。

13 番、前田博之議員。

○13 番（前田博之君） 陳情の趣旨については理解するのですが、審査意見の中段で、これは非常に微妙なところなのですが、提出者は大幅という文言を抜いて理解していただきたい、議員削減という形で捉えていただきたいとこうありますけれども、陳情では何名減らせということはいわないと思うけどこの範囲が、14 名で最終的な結論になっていますけど私たちは発議で

13名出しているのですが、ここでいう大幅という文言を抜いたというこの辺の陳情審査するときのその幅というものをどういう形で捉えているのか。それによってこの陳情に対して私たちは対応をちゃんとしなければいけないものですから。14名ということだけ何名にしろということは陳情の主意からありませんからそこは理解しているのだけど、その幅の考え方と捉え方は陳情者から意見をどういうふうに捉えてこういう意見審査になったのか。その辺をちょっと聞かせてほしいと思います。

○議長（山本浩平君） 大淵紀夫議会運営委員会委員長。

○議会運営委員会委員長（大淵紀夫君） 大淵です。原文を持っておりますので読んで理解をしていただきたいと思います。「各委員から大幅削減云々のことをいわれていますので、であれば私はここを大幅という文字を抜いて理解していただきたい。要するに議員を削減しという形で捉えていただきたい。要するに議員を削減しという形で捉えていただきたい。大幅というその字はもしそういうところにこだわるのであれば私は別に大幅であろうと小幅であろうと現在の定員が減ればよいというそういう気持ちがありますのでそういうふうにご理解してください。」こういうふうにご発言をされておりますので、その結果我々は減らすということでは14名ということですので趣旨採択ということでございます。

○議長（山本浩平君） ほかに質疑ございますか。

7番、西田祐子議員。

○7番（西田祐子君） この審査意見のところでご報告があります議会の役割である行政のチェック、政策立案能力を発揮する、また本町の厳しい財政状況、重要政策課題が先送りされ、住民サービスの低下、税負担が軽減されないことなどこれらを検証する議員の責任は重いとしているというふうにご書かれております。実際に議会運営委員会の中でこれらの課題についてどのように検証され今後どういうふうにごやっていくのかという話はされましたでしょうか。

○議長（山本浩平君） 大淵紀夫議会運営委員会委員長。

○議会運営委員会委員長（大淵紀夫君） 大淵です。このことは陳情者が申し出ることでございます。ですから我々は願意を聞くときに陳情者がいっていることを聞きましたのでそれをもとにご判断をしたということでございます。

○議長（山本浩平君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

採決いたします。

陳情第1号 白老町議会議員定数の削減に関する陳情書、委員長の報告は趣旨採択であります。委員長報告のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

[挙手全員]

○議長（山本浩平君） 全員賛成。

よって陳情第1号は趣旨採択とすることに決定いたしました。